

平 成 29 年 度  
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

## はじめに

平成29年4月の社会福祉法人改革の施行により、新たな役員体制のもと「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取り組みを実施する責務」等を意識しながら運営をいたしました。

また、中央区北部地域包括支援センターは認知症強化型として引き続き大阪市より受託いたしました。

今年度は3年後のビジョン『地域包括ケアシステムを担う法人・施設・職員として常に意識し、地域包括ケアの推進に寄与する。』をっかけ、その初年度として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

社会医療法人きつこう会と合同で、『質の高い医療、介護、福祉サービスが切れ目なく提供できる地域づくり』『地域包括ケアシステム』の構築にむけ、その一環として、情報共有のためパソコンシステム（電子カルテ）の入れ替えを行いました。

また、地域貢献事業として、生活困窮者自立支援事業に取り組み、就労に繋げることができたことは今後、様々な人々が働ける場としての基盤づくりができました。

今年度も1年を通して人手不足に悩まされましたが、『介護職員処遇改善加算Ⅰ』を取得し、一部の職員に介護職員のキャリアアップ制度である『亀望会ケアプロ制度』で評価をすることで人員体制を安定的なものにしました。また、採用を視野に入れ、積極的に学生ボランティアを受け入れると共に、ベトナム人留学生の受け入れにも、現地に面接に行くなど積極的に準備をしました。

人財育成のカリキュラムの充実、働きやすい職場づくりなど昨年度以上に積極的に取り組んだことが、最小限の離職にとどめることにつながりました。

業務改善の『アクションプラン』については、さらに内容も一段とレベルアップし、サービスの質の向上に反映させるとともに、職員のモチベーションをあげるだけではなく、帰属意識を高めるとともに、チームワークの向上にもつながりました。

## 1. 特別養護老人ホーム事業

平成29年度は、住み慣れた地域で、なじみの人々とふれあい、自分らしく生活できる施設を目指して、「科学的根拠に基づいた介護の実践と個別ケアの充実」を目標として、個別のニーズに応じた関わりを深めることができる取り組みを行いました。看取りケアについても退所者26名中13名の方を看取らせていただきました。しかし、退所により空きベッドが出た際、速やかに対応することができず、目標としていた稼働率97.1%（年間のべ利用者数37,086名）に対し、結果、稼働率95.7%（年間のべ利用者数36,335名）と目標を達成することができませんでした。

### （1）生活支援

#### ①生活相談

入所者及び家族からの相談や苦情に対し迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

#### ②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活がその人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を入所者、家族、職員に伝えることで本人らしい生活を送っていただけるように努めました。

### ③地域貢献の視点

地域貢献として取り組んできた「こすもすカフェ」(第二火曜日)と「こすもすカフェ(モーニング)」(第一・第三木曜日)の開催では、それぞれ常連のお客様も増え、1日の平均利用者数は「こすもすカフェ」12.0名/日、「こすもすカフェ(モーニング)」6.6名/日でした。継続的な運営より地域の交流の場として定着してきました。また、昨年度と同様に地域住民の方向けに「認知症サポーター養成講座」を年7回開催し、のべ21名の方に受講していただきました。

地域交流の取り組みでは、地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすため、多方面からボランティアを受け入れることができる体制を整え、学生ボランティアを含め、のべ63名の方に施設内の行事を中心に活動していただきました。また、世代間交流の一環として、幼稚園や保育所の園児を招待した交流会を年5回開催し、のべ178名の園児を招き交流を図りました。

入所者と地域定例のお花見や盆踊りなどの行事に参加するだけでなく、定例の町会会議にも出席し、歳末警備など積極的に参加することで地域の一員として関わりを持つように努めました。

### ④顧客の視点

認知症や入浴、排泄、食事に関する「ケアのあり方委員会」を開催し、科学的根拠に基づくケア方針の確立とご本人にあった個別ケアの実践に向けて取り組みました。

### ⑤財務の視点

職員一人ひとりがコスト意識をもって業務遂行を行っていく取り組みとして節電や節水、排泄介助方法の見直しを定期的に行い、排泄ケアの見直しを図りました。

### ⑥業務プロセスの視点

腰痛予防委員会で検討された介護機器(スライディングボード、スライドシート等)の導入、腰痛予防を目的とした介護・看護職員研修を行い、重度化した現場に対する介護職員の負担軽減に努めました。

また、業務検討委員会を新たに設置し、適正な人員配置の検討や業務のスリム化を目指した取り組みも行いました。

### ⑦人財育成の視点

新任職員を対象としたフォローアップ研修を継続的(年3回)に実施するなど、職員研修を充実させ、モチベーションアップに繋げ、全体のスキルアップを図りました。

## (2)健康管理

介護職員は、日々の観察にて体調不良などの早期発見に努め、速やかに看護師へ連絡し、医師の指示による医療機関への受診に繋げることができました。

看取りケアにおいては、すべての職種が連携し支援することにより、施設で穏やかな最期を迎えていただきました。看取り後は、看取り委員会で振り返りを行い、次に繋げられるよう取り組んでいます。

平成24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、入所者により安全なケアの提供と、介護職員のスキルアップに繋がる指導を看護職員により継続、実施しました。

## (3)栄養管理

前年度に引き続き、家庭規模の少人数で行う「鍋料理」や「冷やし素麺」とイベント規模で行う「居酒屋」や「味覚祭り」などの行事を通して食事を楽しんでいただくことで、普段見ることのできない新たな一面を発見することができました。

このような情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かし、個別に反映させることができました。

また、「コロッケ」や「オムライス」等人気のある昔から馴染みのある洋食を通常献立に組み込むことで普段の食事のバリエーションを増やしました。

(4) その他の取り組み

安全対策の取り組みとして、各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

## 2. 居宅サービス事業

居宅サービス事業においては、『地域包括ケアシステム』の一端を担う事業所であることを意識し、より質の高いサービスを提供できるよう各部署の連携強化に取り組むと共に、医療機関や行政、地域との連携強化にも努めました。

その結果、利用者や家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができ、地域の方々の『在宅支援、自立支援』に貢献することができました。

### (1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

居宅の介護支援専門員からの相談や緊急の依頼に対して柔軟に対応することができ、特養空きベッドも活用できた結果、目標としていた稼働率平均14.2名/日（年間のべ利用者数5,183名）に対して、結果、平均14.9名/日（年間のべ利用者数5,332名）と目標を達成することができました。

西区を中心に短期間でより多くの方々にご利用していただけるよう、積極的に面接をおこなった結果、年間で73名（うち西区の方36名）と新規の契約を結ぶことができ、そのうち68名の方を新規の利用につなげることができました。

大阪市認知症高齢者緊急ショートステイ事業（居室確保業務）では、年間11名（のべ利用日数148日）の対応にあたり、介護者の精神的負担感の軽減等にも努めました。

### (2) 通所介護（高齢者デイサービス）

充実した設備に加え、専門知識や技術を備えた職員の配置により、介護度が中度から重度になっても利用を継続できるよう柔軟に受け入れることができました。その結果、目標としていた年間延利用者数8,685名に対し7,694名、1日平均利用数27.0名に対し24.7名と目標を達成することはできませんでしたが、昨年度に比べ、稼働率を向上させることができました。

通所サービスに求められる機能として、家族などの「介護負担軽減」がありますが、本人が持つ能力を発見し生活機能の向上を目的とした取り組みを続けることで、要介護度を改善することができる事例も増やすことができました。

次年度も引き続き、時流や制度改正に柔軟に対応できるように職員への教育を行い、効果的なサービスを実施することで評価され、選ばれる事業所となるよう努めていきます。

### (3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

認知症の方を対象とする通所介護は4年目を迎え、当初のコンセプト通り、日常生活の延長線上にある「役割のある過ごし方」を中心に、認知機能の維持と認知症の進行の防止や生活の機能向上に繋げることで、在宅生活の継続を支援することができました。

地域の方々に対してはサービスの特色や認知症についての啓発活動、居場所づくりや相談の場として「認知症カフェ（オレンジカフェつどい）」「シニア料理教室」などを開催しました。また、「運営推進会議」の定期開催にて地域の会合での広報活動の機会を得ることができました。しかし、利用者増加にはつながらず目標としていたのべ利用者数1,582名に対し1,053名、1日平均利用数6.0名に対し4.1名と稼働率を達成することができませんでした。次年度は、地域に向けての取り組みを継続するとともに介護支援専門員への広報を強化し柔軟な受け入れ体制を整え、稼働率の向上に努めます。

#### (4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口として専属相談員を配置し、地域の相談支援を行いました。相談窓口として広報活動が不足したこともあり、目標相談件数600件に対し476件と目標を達成することができませんでした。

居宅介護支援事業としては4名の介護支援専門員により、高齢者人口の少ない西区において月平均147件の要支援・要介護ケースに対応し目標を達成する事ができました。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

各種関係者との連携および地域活動として、幼稚園・保育所での福祉教育、認知症カフェへの参加、認知症サポーター養成講座の定期開催、圏域マンションでの出張講座などを行いました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々との交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

#### (5) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

いつまでも住み慣れた自宅で自分らしい生活が継続できるように「共に行う支援」を中心に、「できる」ことに着目し、自立支援に繋げるサービス提供ができました。

しかし、人材不足から利用者やその家族のニーズに対応することができず、年間目標のべ派遣時間数3,481時間に対し2,375時間と、目標を達成することができませんでした。また、質の高い訪問介護員を確保し、身体介護を中心とした運営をめざしてきましたが、安定的に訪問介護員が確保できないことから身体介護のニーズに対応できず、生活援助中心の運営となりました。また、訪問介護事業者の増加に伴い、地域ニーズが十分に満たされていることから平成29年度をもって事業を廃止することとなりました。

#### (6) 地域包括支援センター（中央区北部）

開設6年目となる今年度の総合相談件数4,044件・相談実人数は616名となり、地域に根差した相談窓口として定着してきました。

介護支援専門員からの相談件数も889件となり、地域の介護支援専門員への後方支援の機会に比例し、信頼関係も深まっています。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議を19回・サービス利用調整会議を23回行い、行政や地域関連機関と連携により問題解決を図りました。

中央区認知症支援ネットワーク（C o C o ネットちゅうおう）や中央区地域ケア研究集会、各介護保険事業所の連絡会及び介護家族の会などの事務局として地域のネットワーク作りに貢献しました。

指定介護予防支援事業者として月平均354件（一部委託含む）の指定介護予防ケアプランに携りました。

事業評価については大阪市の評価基準を全て満たし、応用評価についても20点満点で昨年以上の評価を受けることができました。次年度においても評価基準を満たす運営を行い、地域に信頼される地域包括支援センターを目指します。

### (7) 認知症初期集中支援推進事業（中央区北部）

認知症の疑いがある方々のファーストタッチを集中的に行う事業として、平成29年1月から取り組みを開始しました。初期集中支援推進チームとしてケースの支援方針を検討する為の会議にチーム員医師を交えて毎月1回開催しました。また、中央区内で様々な機関と連携を図るための会議へ参加し、今後の活動の基盤づくりに取り組みました。

開設して1年、専門職を始め多くの地域住民の方々にも知っていただくため、警察署や郵便局、地下鉄の掲示板や銀行、地域の会館や大型スーパー、デイサービス事業所や認知症サポーター養成講座開催場所など146カ所で挨拶・事業説明を行うなど、広報・普及啓発活動の取り組みに力を注いだ結果、相談対応ケース43件（内対象者36件）に対して支援を行うことが出来ました。

中央区全域で積極的な広報・普及啓発活動を行ったことで他包括圏域からも15件の相談につながる結果となったことから、次年度においては実際に支援につながった事例を紹介することで理解を深めてもらい、専門職や地域福祉コーディネーターと連携の強化を目指します。

## 3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

#### 4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、入所を継続する中で日常生活に何らかの支援が必要になってくる方がおられます。できるだけ施設で暮らし続けたいという入所者の思いを達成するため、「出来る限り長く住み慣れた施設で暮らし、自分らしい生活が継続できる」という方針を掲げ、介護予防に繋がる活動を増やす事に力を入れ、職員の支援体制を検討し、どのような状態まで生活が可能か検討を行いました。

また、きつこう会、亀望会各事業所との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

平成29年度末で要介護認定を受けている方は23名、うち介護サービス利用中の方は17名（江之子島コスモス苑通所介護（デイサービス）4名、江之子島コスモス苑訪問介護10名、きつこう会訪問看護ステーション3名）おられ、各事業所との情報交換に努めることで、安心してサービスを利用してもらえました。

##### （1）地域貢献の視点

地域との交流を増やす取り組みとして、地域で行われる行事の情報を伝えました。西区スリーアイズ大会やその他の西区の行事にも参加しています。

入所の問い合わせの際に様々な住居に関する相談があるので、丁寧な対応に努めました。入所の問い合わせは年間123件、うち面談実施に繋がったのは12件でした。

##### （2）顧客の視点

認知症予防を特に意識した介護予防の取り組みを増やすことで、入所者の予防に対する意識が向上し、体操や行事への参加者が増加しました。介護予防体操（シナプソロジー）を48回開催し、総人数941名（平均19.6名／回）が参加しました。

医療面の相談にのれるように、地域の医療機関情報のとりまとめを行いました。医療知識の強化も計画していましたが、充分に行えなかったため、次年度も引き続き取り組んでいきます。

重度化への対応は、要援助者が出るたびに支援策を検討しました。特に入院後の支援を計画的にすすめる事に力を入れ、次に生かせる目安ができました。

##### （3）財務の視点

入所者・家族とコミュニケーションを丁寧に行うことで入所者の状態把握に努めましたが、入院中の急な退所があり、満床にならない月が2か月ありました。

建物や備品の老朽化が進み、長期修繕計画の見直しを行いましたが、予想外の修繕も発生しており、予算内で修繕しきれませんでした。

##### （4）業務プロセスの視点

介護予防の取り組みを進める中で、入所者の認知能力や身体能力の把握が進み、気になる状態の方は職員会議で話し合い、状態に応じた対応を検討できました。

##### （5）人財育成の視点

介護支援専門員の実務者研修・更新研修に各1名参加したため、その他の研修参加はできませんでした。次年度個人の課題に応じた研修参加をすすめます。



## 〔資料 編〕

### 1. 特別養護老人ホーム事業

#### ①入所者利用状況（H29.4.1～H30.3.31）

ア. 平均年齢：H30.3.31 現在 （）内前年度

男性	15名・82.8歳	女性	82名・88.1歳	平均年齢	87.3歳(87.3歳)
----	-----------	----	-----------	------	--------------

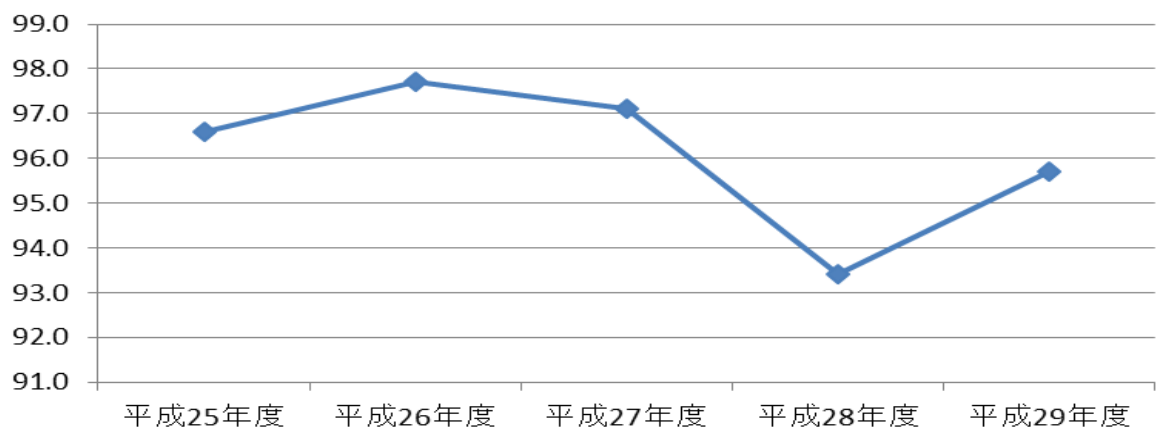
イ. 日常生活動作調査（対象者 97名）：H30.3.31 現在

区 分	移 動			食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	30	17	50	49	14	34	12	29	56	0	22	75	11	19	67

区 分	整 容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症 老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	13	22	62	37	32	28	37	26	34	20	15	47	82

ウ. 年間のべ入所者数合計等：H29.4.1～H30.3.31 （）内前年度

#### 年間利用率(%)の推移

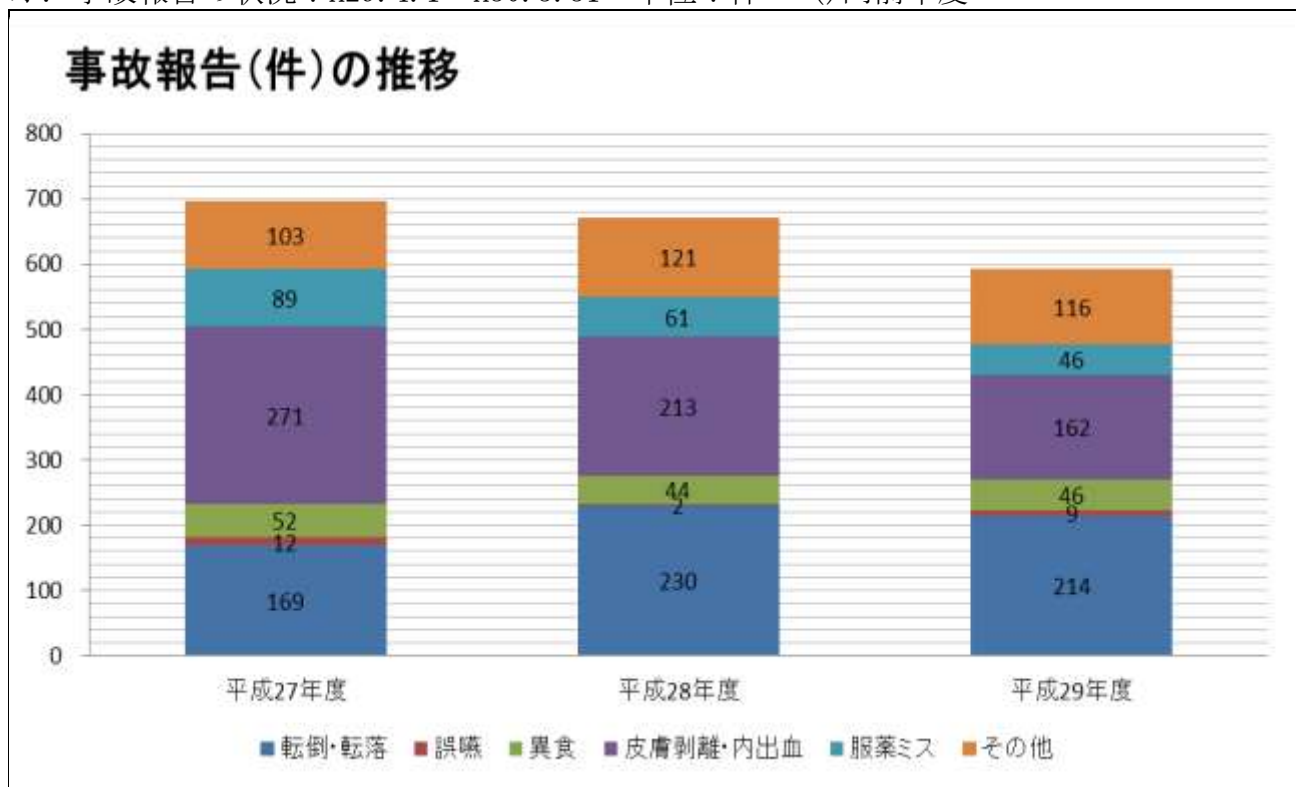


年間利用率 (%)		95.7	(93.4)
年間のべ利用者数合計 (名)		36,335	(35,458)
介護 度別	要介護度1 (名)	0	(327)
	要介護度2 (名)	1,073	(1,727)
	要介護度3 (名)	5,355	(5,330)
	要介護度4 (名)	14,350	(12,308)
	要介護度5 (名)	15,557	(15,766)
年間のべ入院及び外泊者数 (名)		521	(500)
年間のべ空床数 (床)		1,104	(2002)
年間退所者数 (名)		26	(42)

エ. 退所者の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 単位：名

帰宅	他施設に移転	病院に入院	死亡(うち看取り)	その他	合計
0	0	7	19 (13)	0	26

オ. 事故報告の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 単位：件 ( )内前年度



転倒・転落	214	(230)
誤嚥	9	(2)
異食(他人の物を食べてしまう場合を含む)	46	(44)
皮膚剥離・内出血	162	(213)
服薬ミス	46	(61)
その他	116	(121)
合 計	593	(671)

※重大事故3件：3件とも骨折入院（1件：骨折入院）

カ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 ( )内前年度

苦情相談	0件 (2件)
------	---------

## ②主な行事および活動

ア. 行事

日 付	行 事 名	備 考
平成29年 4月1日	広教連合とのお花見(島津公園)	地域のお花見に参加し、さくら鑑賞とともに地域の人々との交流を行いました。(3名)
4月4日 ～12日	土佐稲荷神社	暖かい天気の良い日に行きました。公園では子供たちとのふれ合いもあり、楽しんでいただきました。(10名)
5月11・12・ 15・19日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園バラ園を散策していただく日と、園内でお弁当を召し上がっていただく日を設け、季節を感じていただきました。(21名)

5月18日	韮幼稚園との交流会	園児による合唱や入所者への肩たたきなど、サービス満点の楽しい交流会となりました
6月28日	歌の会 「一緒に歌おう会」	昔なつかしの映像を見ながらみなさんと一緒に歌をうたい、楽しいひとときを過ごしていただきました。
7月13日	子どもみこし	施設の前で子どもみこしを披露していただき、太鼓の音色や祭りの雰囲気を楽しまれていました。
7月22日	夏祭り	模擬店や盆踊りなどボランティアの協力も得て、盛大に夏祭りを行いました。入所者及び家族、関係者の皆様にも楽しんでいただきました。
8月19・23日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を楽しんでいただきました。
8月18・19・21・23日	地域の盆踊り	地域の盆踊りに参加し、地域の方々との交流を楽しんでいただきました。(12名)
8月29・30日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月14日	敬老祝賀会 (マジックショー)	ミスター・オクチ氏による巧みな技に、みなさん驚愕するとともに楽しまれていました。
9月22日	西船場幼稚園との交流会	手遊び歌で一緒に手を動かし、子ども達との交流を楽しまれていました。
10月20日	西保育所との交流会	パーランクー(沖縄楽器)の踊りを披露していただくなど、子ども達との交流を楽しまれていました。
10月25日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばなどを入所者の前で焼き、屋台の雰囲気の中で召し上がっていただきました。
11月2日	ポプラ保育所との交流会	手遊び歌で一緒に手を動かし、子ども達との交流を楽しまれていました
11月9・11・24日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
11月17日 ～12月6日	西区高齢者施設 合同展示会	出展に向け、入所者で力を合わせて創作活動を行いました。多くの方々に観ていただき、称賛されたことに喜びを感じておられました。
12月1日	韮幼稚園との交流会	園児による合唱やお遊戯など楽しい交流会となりました。
12月19日 ～22日	クリスマス会	職員が入所者一人ひとりに合ったプレゼントを配り、夕食時にはステーキを食べていただくなど楽しいひとときを過ごしていただきました。
12月26日	もちつき	つきたてのお餅にあんこやきなこ、大根おろしなどお好きな味で召し上がっていただきました。
平成30年 1月1・2・3日	新年祝賀会	施設長の挨拶で始まり、おせち料理やお屠蘇を提供し、新年のお祝いをしました。
2月2日	節分	昔からの風習である豆まきを、豆のかわりにボールを投げることで、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
3月23日	映画鑑賞会	映画館のような雰囲気のなか、おやつを食べながら大画面で映画を鑑賞していただきました。(21名)

イ. 面会・外出・外泊状況集計表：H29.4.1～H30.3.31

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
5名	8名	14名	22名	6名	11名	38名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
4名	7名	6名	2名	5名	13名	67名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	0名	3名	101名

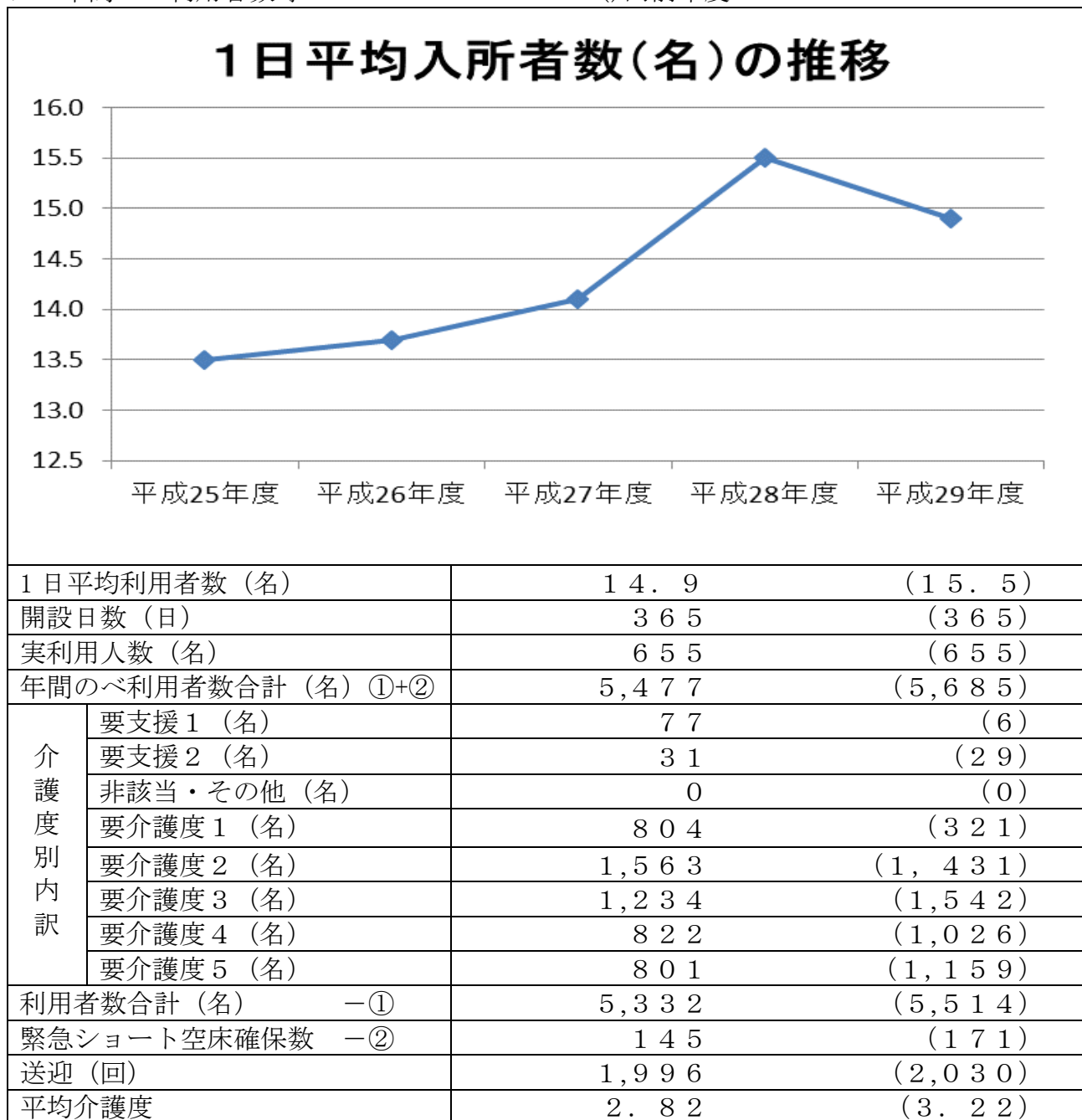
ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年 月 日	内 容	備 考
平成29年4月19日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成29年6月21日	自衛消防訓練(3F配膳室) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成29年9月20日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練
平成29年10月18日	自衛消防訓練(4F談話室) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成30年1月17日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練

## ２．居宅サービス事業

### ①短期入所生活介護（ショートステイ）

ア．年間のべ利用者数等：H29.4.1～H30.3.31 （）内前年度

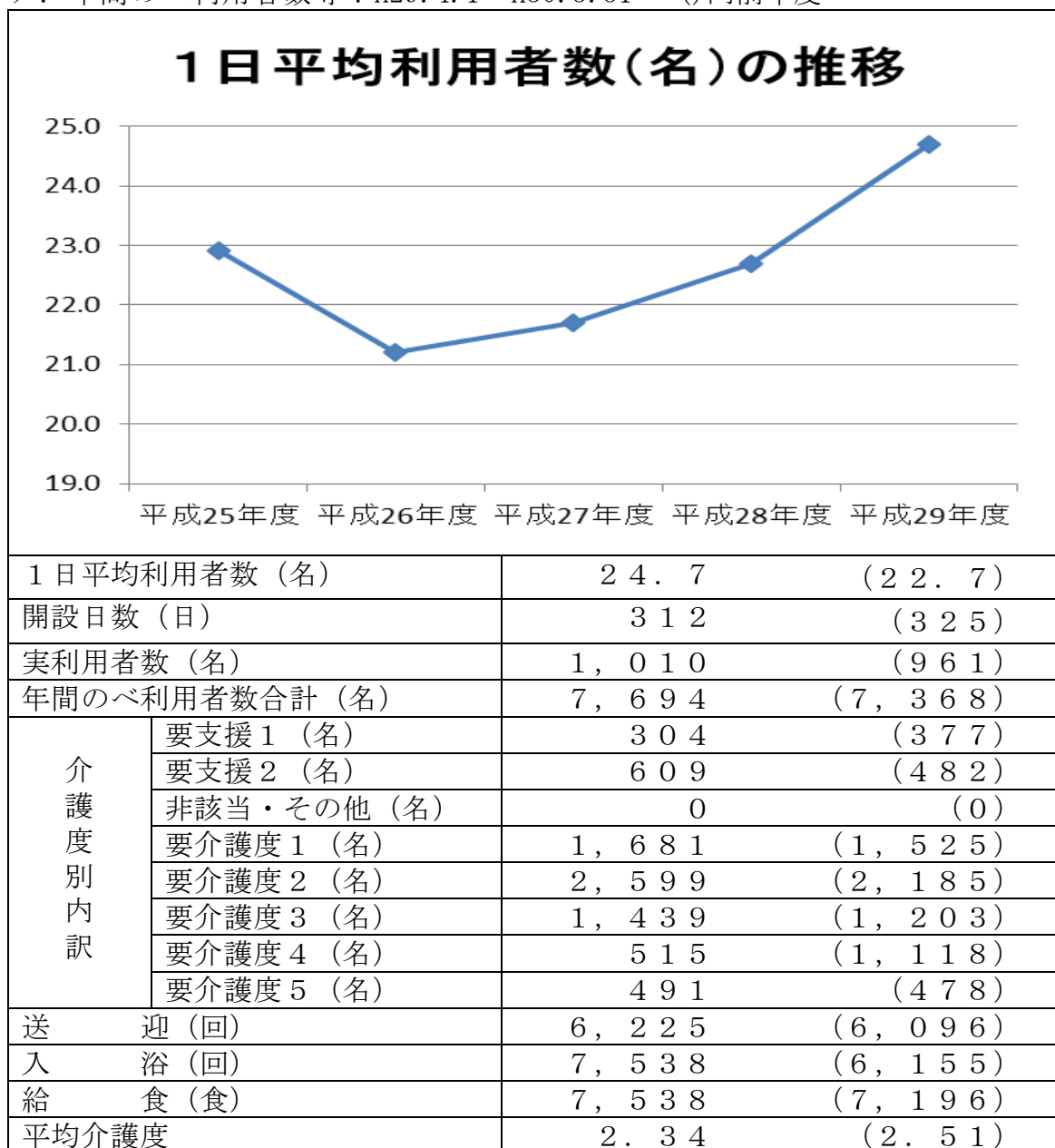


イ．苦情相談の状況：H29.4.1～H30.3.31 （）内前年度

苦情相談	0件（4件）
------	--------

## ②通所介護（高齢者デイサービス）

ア．年間のべ利用者数等：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度



イ．実利用者数月毎推移表：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数（名）	83	81	83	84	86	87	86	86	86	86	81	81

ウ．利用者の状況：H30. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合 計
合 計（名）	27	14	40	0	81

エ．主な行事

- ・お花見（江之子島公園）：4月3日（月）～4月10日（月）
- ・夏祭り週間：8月7日（月）～8月12日（土）
- ・敬老週間：9月11日（月）～9月16日（土）
- ・年末ビンゴ大会：12月25日（日）～12月30日（土）
- ・初詣（茨住吉神社）：1月8日（月）～1月13日（土）
- ・節分：2月5日（月）～2月10日（土）

オ. 誕生日会

- ・毎月開催（誕生日者のみケーキを選んで頂き、おやつ時に召し上がる）

カ. クラブ活動

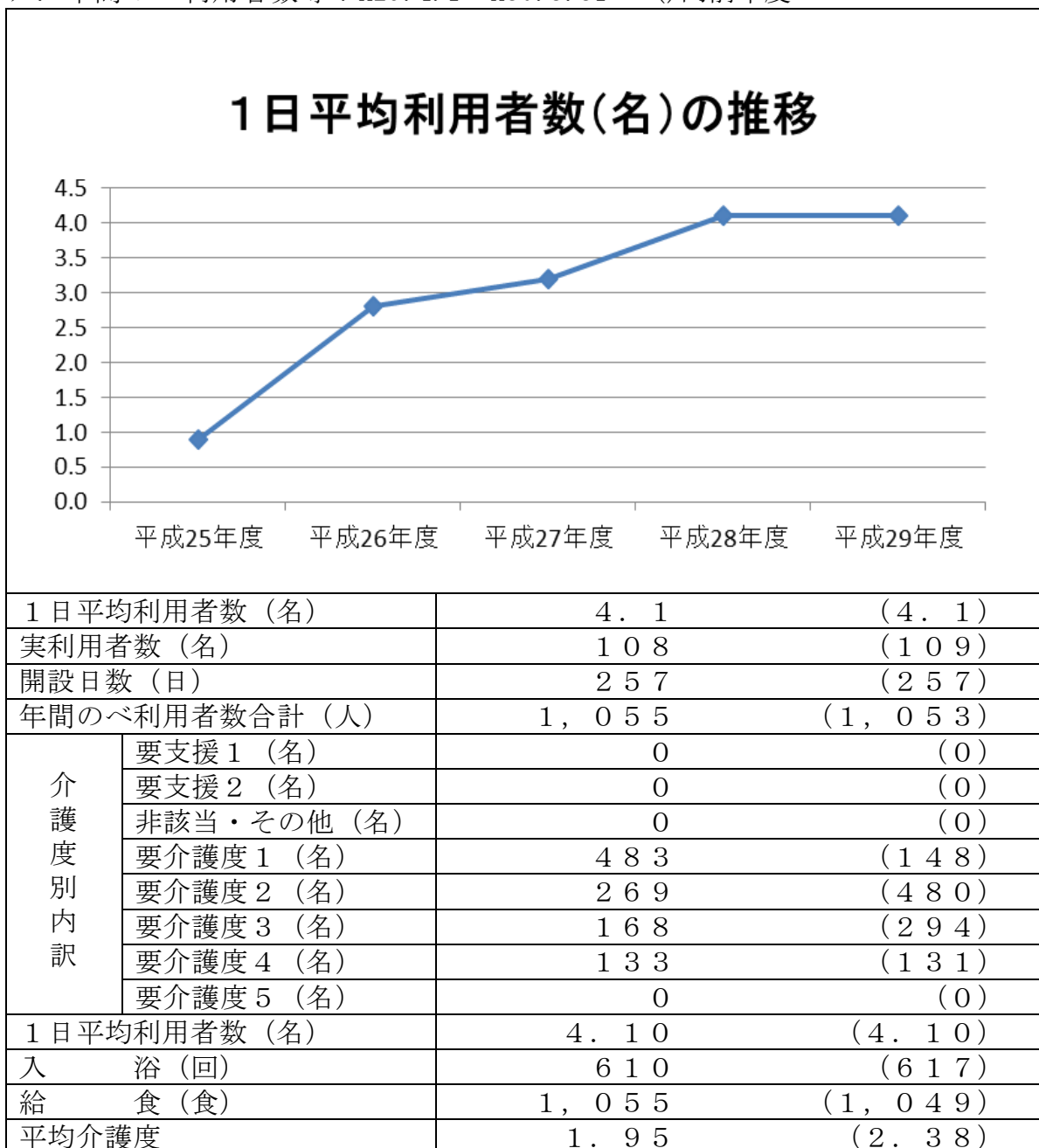
- ・脳トレ、書道・ペン習字、運動、モノ作り、手芸の各クラブ活動を実施

キ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	6 件（4 件）
------	----------

### ③認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

ア. 年間のべ利用者数等：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度



イ. 実利用者数月毎推移表：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数 (名)	8	8	10	8	9	9	9	9	10	9	10	9

ウ. 利用者の状況：H30.3.31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合 計
合 計 (名)	2	2	6	0	9

エ. コスモスのかぜ九条南運営推進会議の状況：H29.4.1～H30.3.31 ( )内前年度

6 回 ( 5 回)	のべ30名参加 (24名)
------------	---------------

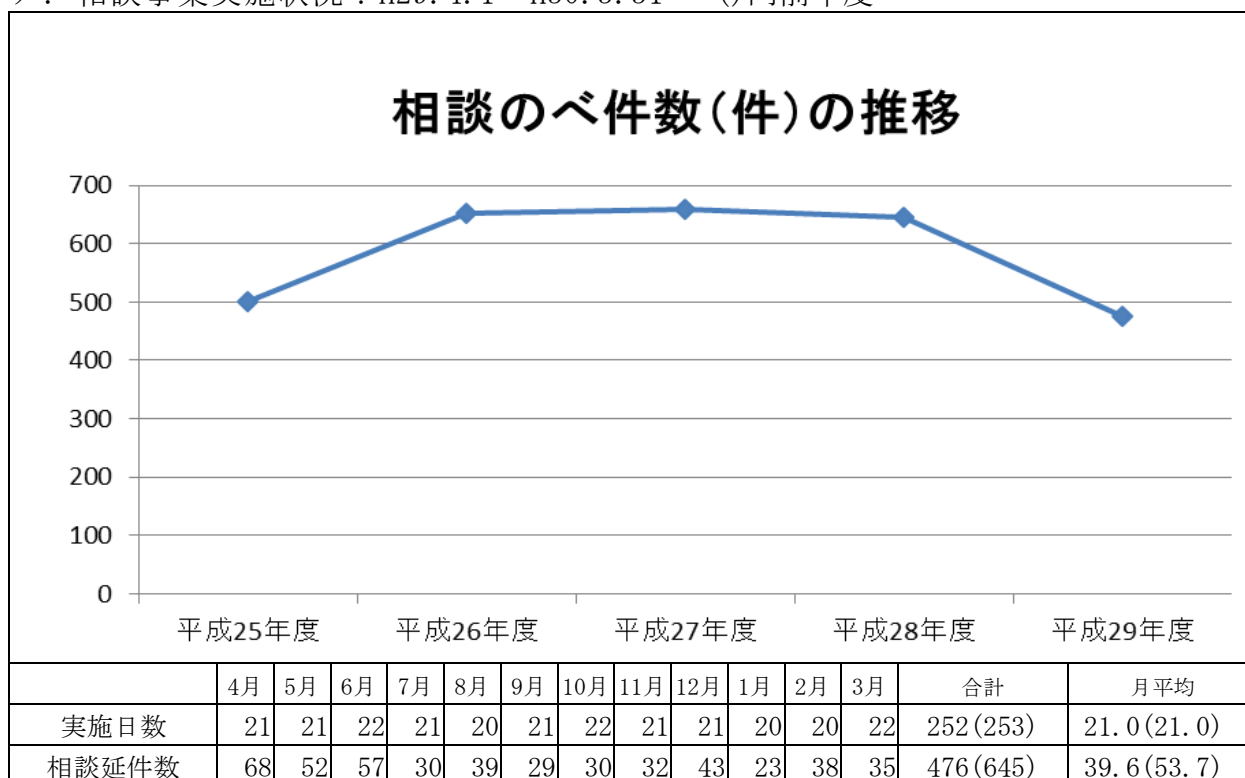
オ. 苦情相談の状況：H29.4.1～H30.3.31 ( )内前年度

苦情相談	1 件 (0 件)
------	-----------

#### ④在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

##### (1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況：H29.4.1～H30.3.31 ( )内前年度



イ. 相談内容：H29.4.1～H30.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題				1			1	3		1		1	7	0.6
経済・生活問題	11	11	12	8	12		2	7	4	1	3	5	76	6.3
介護サービス	35	21	29	11	11	16	15	7	7	11	17	10	190	15.8
介護予防サービス	5	2	11	1	9	7	9	4	23	5	9		85	7.0
介護予防事業		1	1	3		6	2	2	6	2	4	2	29	2.4
福祉サービス	2	2		1				1					6	0.5
保健医療サービス	3	4	1					3				4	15	1.3
虐待	7	10											17	1.4
成年後見制度								1				2	3	0.3
生きがいづくり														
その他	5	1	3	5	7		1	4	3	3	5	11	48	4.0
合 計 (件)	68	52	57	30	39	29	30	32	43	23	38	35	476	39.6

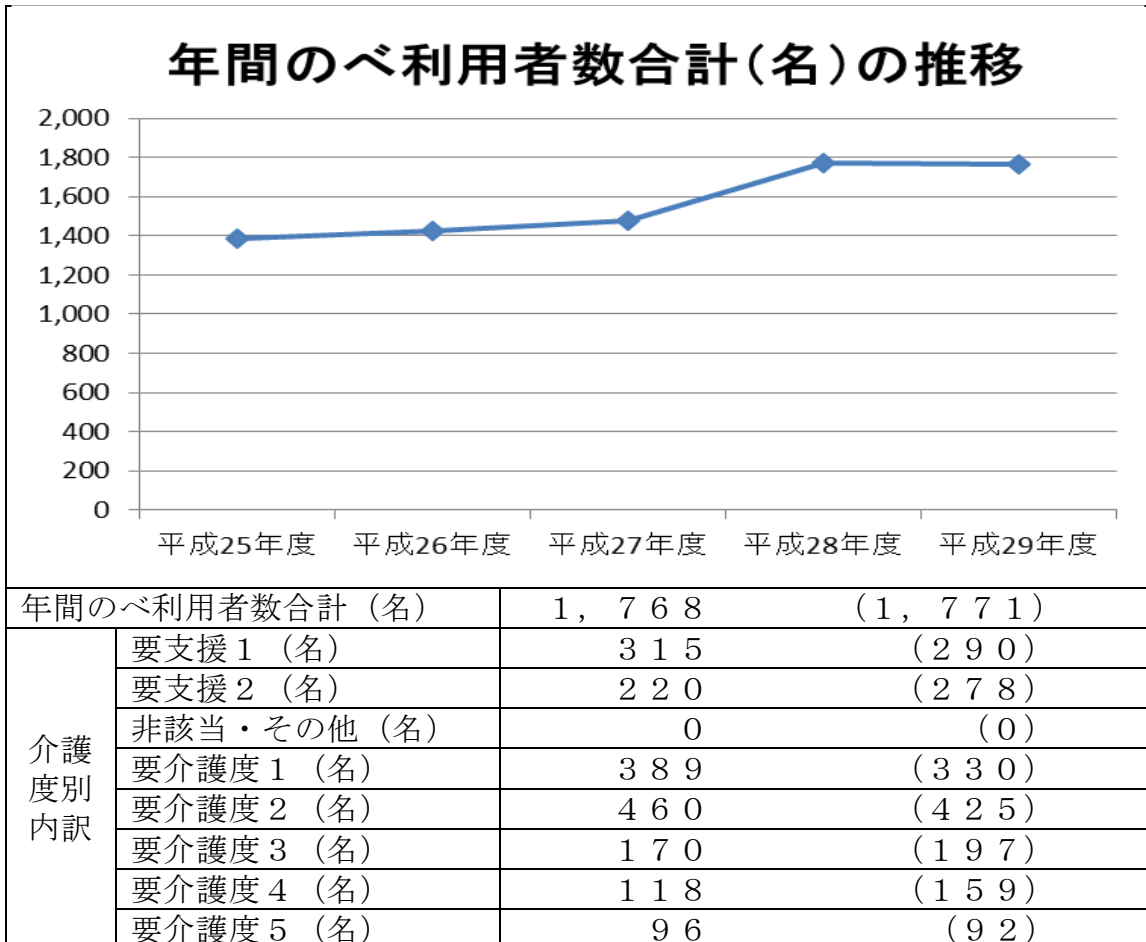


ウ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	0 件（0 件）
------	----------

## (2) 居宅介護支援事業

ア. 年間のべ利用者数等：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

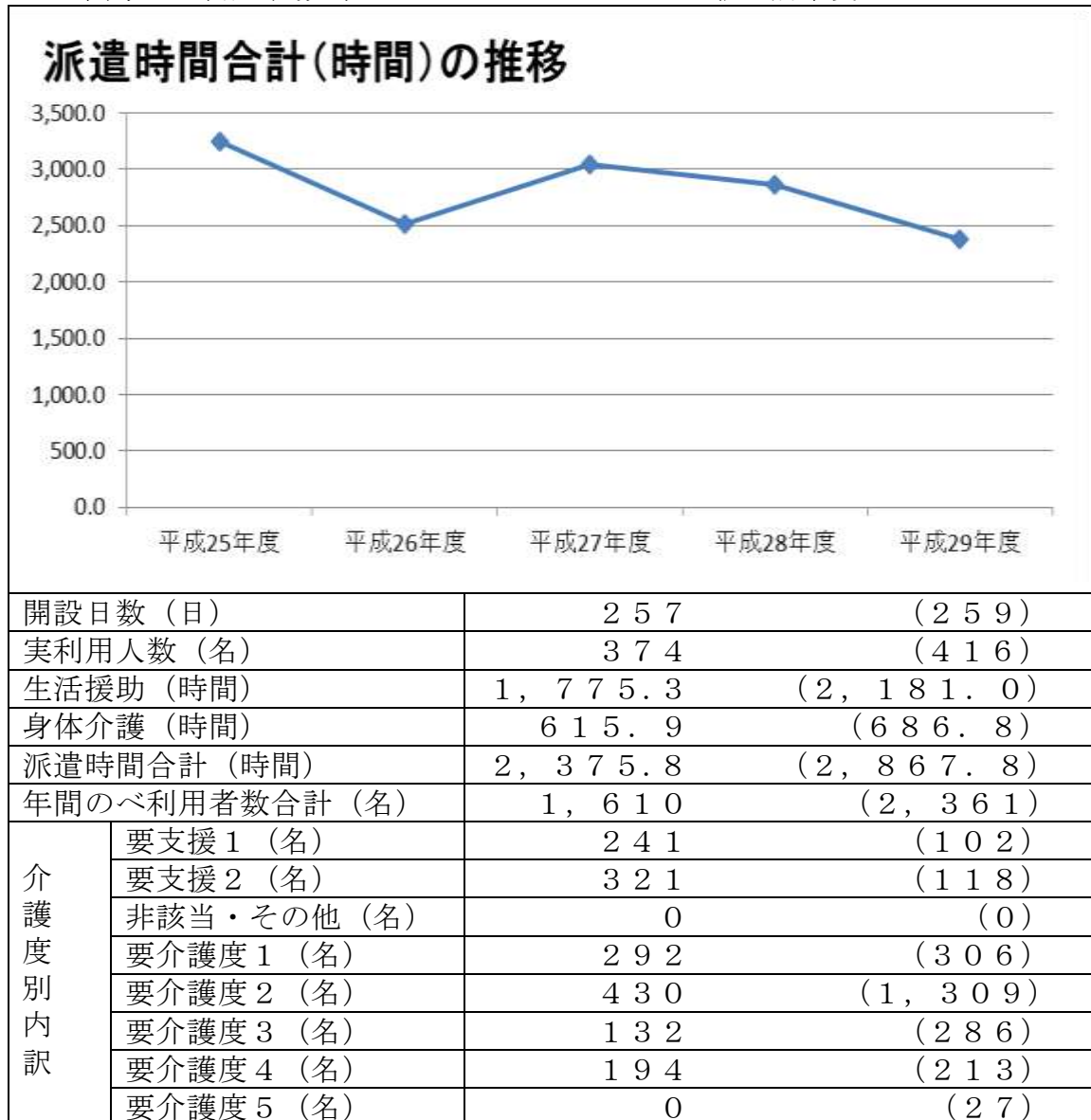


イ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	5 件（3 件）
------	----------

⑤訪問介護（ホームヘルプサービス）

ア．年間のべ利用者数等：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度



イ．平均年齢 全体 男女別：H30. 3. 31現在

男性	4名・79.6歳	女性	24名・85.1歳	平均年齢	28名・83.8歳
----	----------	----	-----------	------	-----------

ウ．利用者の状況：H30. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子ども(家族) と同居	未婚の子ども と同居	その他	合 計
合 計(名)	19	4	0	3	2	28

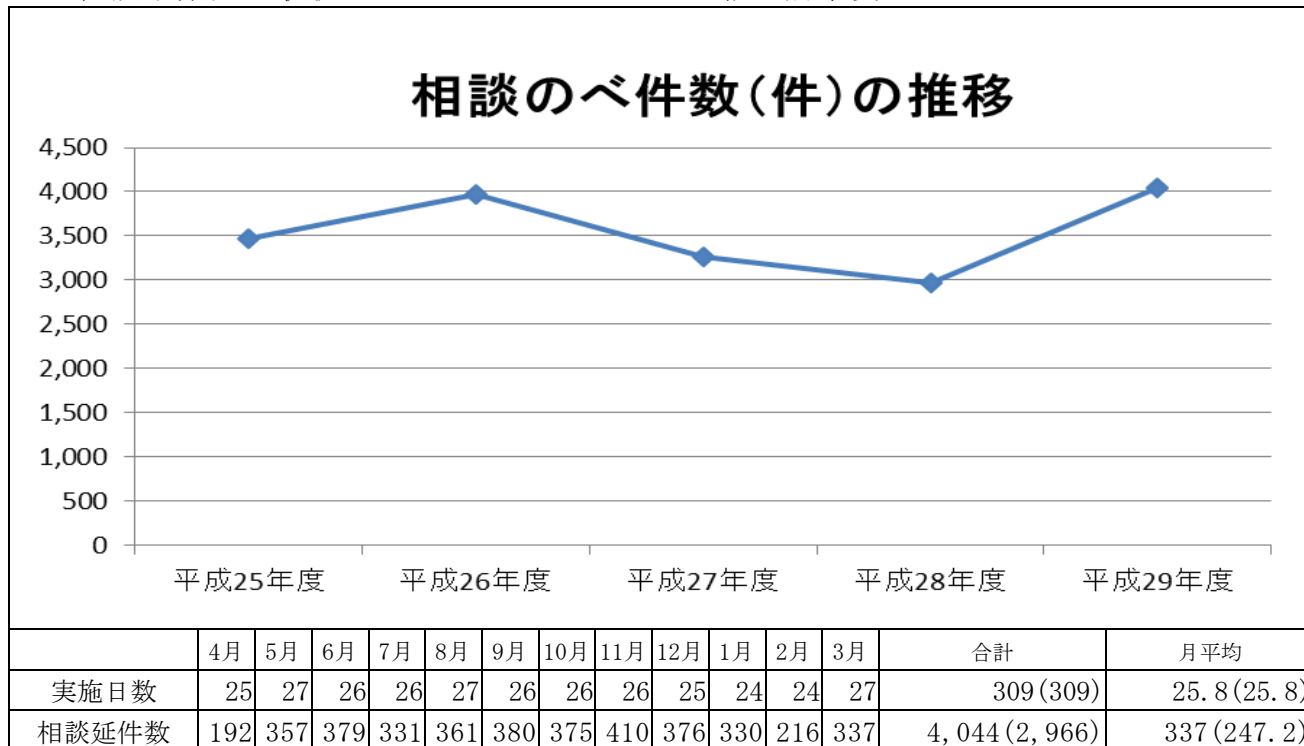
エ．苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	2件（2件）
------	--------

⑥地域包括支援センター（中央区北部）

(1) 地域包括介護支援センター事業

ア．相談事業実施状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度



イ．相談内容：：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	0	1	5	1	0	0	4	2	0	0	4	0	17	1.4
経済・生活問題	17	23	22	42	26	18	2	6	14	5	1	62	238	19.8
介護サービス	81	132	104	114	149	190	182	202	153	174	112	141	1,734	144.5
介護予防サービス	41	87	141	60	94	86	92	127	137	85	26	48	1,024	85.3
介護予防事業	25	16	33	38	11	10	16	7	4	16	13	14	203	16.9
福祉サービス	12	15	11	9	5	6	21	10	6	5	1	1	102	8.5
保健医療サービス	7	18	25	23	16	15	5	4	39	24	16	7	199	16.6
虐待	7	55	26	18	14	4	2	13	0	0	23	33	195	16.3
成年後見制度	1	8	11	14	11	6	3	11	10	1	1	0	77	6.4
生きがいづくり	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
その他	1	0	0	12	35	45	48	28	13	20	19	31	252	21.0
合 計 (件)	192	357	379	331	361	380	375	410	376	330	216	337	4,044	337.0

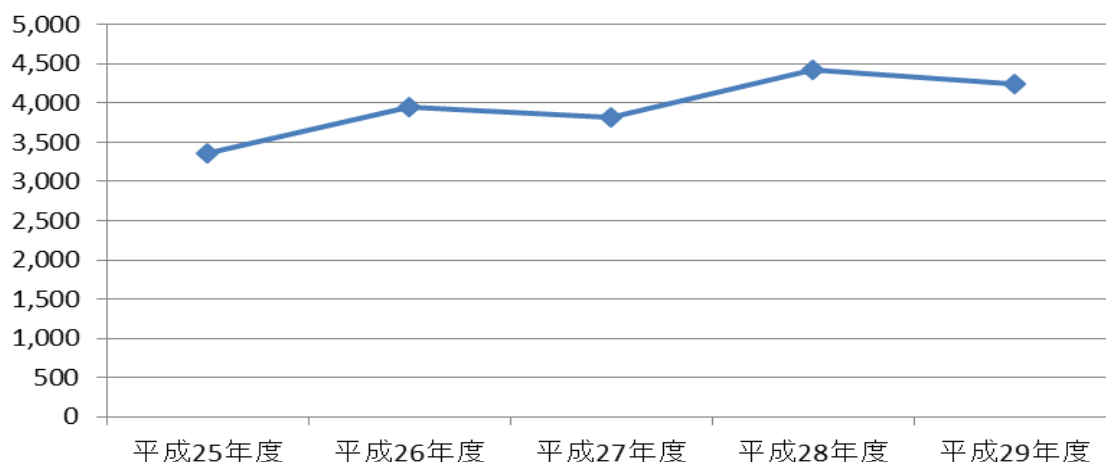
ウ．苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	2 件（1 件）
------	----------

## (2) 介護予防支援事業

ア. 年間のべ利用者数等：H29. 4. 1～H30. 3. 31 ( )内前年度

### 年間のべ利用者数合計(名)の推移



年間のべ利用者数合計(名)		4,251	(4,424)
介護度別 内訳	要支援1(直)(名)	431	(424)
	要支援1(委託)(名)	1,517	(1,583)
	要支援1 合計(名)	1,948	(2,007)
	要支援2(直)(名)	343	(429)
	要支援2(委託)(名)	1,957	(1,988)
	要支援2 合計(名)	2,300	(2,417)

イ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 ( )内前年度

苦情相談	1件(4件)
------	--------

## ⑦認知症初期集中支援推進事業(中央区北部)

ア. 相談事業実施状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	20	20	22	20	22	21	21	20	21	19	19	21	246	20.5
相談延件数	100	126	130	85	114	97	218	142	131	188	114	152	1,597	133.1

イ. 広報・普及啓発活動実績：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	9	5	8	22	23	40	4	16	7	8	2	5	149	12.4

ウ. 若年認知症についての相談：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2

エ. 支援困難症例の主たる支援機関からの相談：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	4	0.3

オ. ネットワーク構築のための会議回数：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	2	4	4	3	3	4	4	3	2	2	3	3	37	3.1

カ. 認知症カフェへの側面的支援回数：H29. 4. 1～H30. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	2	3	1	2	1	1	0	2	2	1	2	2	19	1.6

キ. 苦情相談の状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31

苦情相談	1 件（0 件）
------	----------

### 3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

	入所者	職 員	合 計
年間合計(名)	1,209(1,234)	32(28)	1,241(1,262)
月平均(名)	100.8(102.8)	2.7(2.3)	103.4(105.2)

イ. 健康診断実施状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

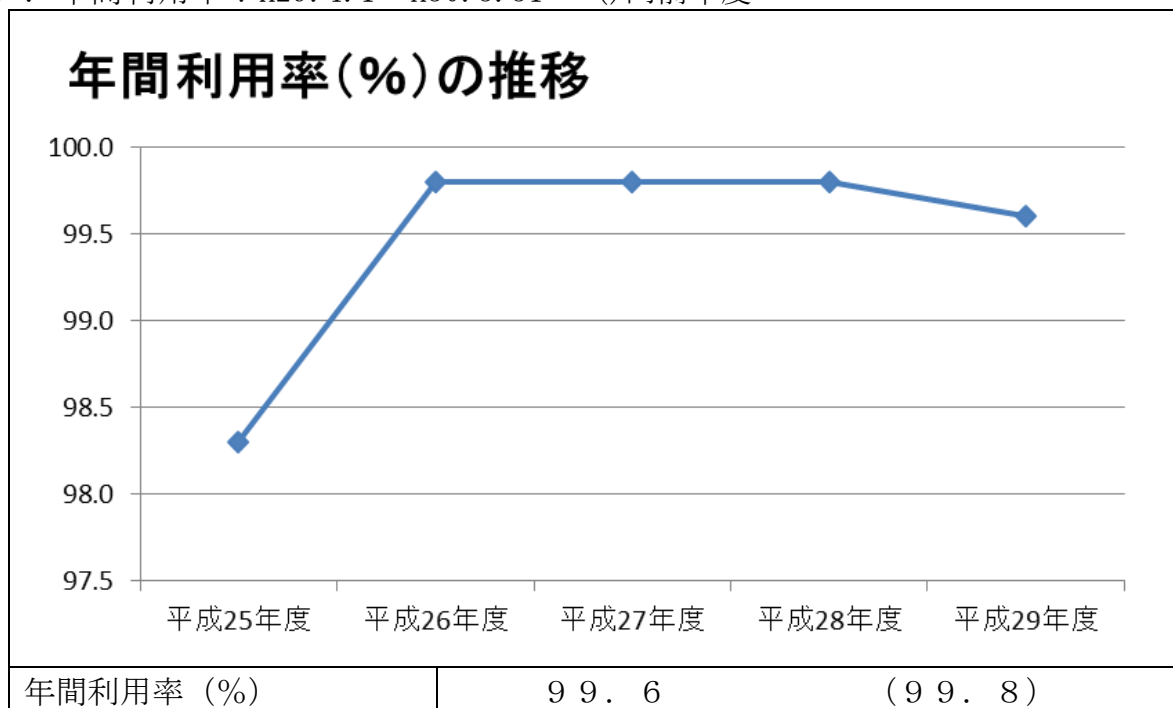
	入所者	職 員	ケアハウス	合 計
年間合計(名)	210(219)	168(173)	23(25)	401(417)
月平均(名)	17.5(18.3)	14.0(14.4)	1.9(2.1)	33.4(34.8)

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度

	入所者	職 員	ケアハウス	職員家族	合 計
年間合計(名)	97(94)	139(133)	6(17)	0(0)	242(244)

### 4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 年間利用率：H29. 4. 1～H30. 3. 31 （）内前年度



イ. 平均年齢：H30. 3. 31 現在 （）内前年度

男性	9 名・83.3 歳	女性	31 名・85.7 歳	平均年齢	85.2 歳(83.9 歳)
----	------------	----	-------------	------	----------------

ウ. 日常生活動作調査（対象者 40 名）：H30.3.31現在

区 分	移 動		食 事			排 泄			入 浴		
	自立 歩行	補助 具使用	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	普 通	やや 不 自 由	不 自 由	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数（名）	23	17	39	1	0	38	1	1	34	5	1

※補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖・車椅子を使用している者

エ. 面会・来客・外泊状況集計表：H29.4.1～H30.3.31

年間面会・来客回数

1 1 回～	6 ～ 1 0 回	3 ～ 5 回	1 ～ 2 回	0 回
1 4 名	1 名	1 0 名	9 名	6 名

年間外泊回数

1 1 回～	6 ～ 1 0 回	3 ～ 5 回	1 ～ 2 回	0 回
1 名	0 名	5 名	1 4 名	2 0 名

オ. 主な行事

- 4 月 花見外出 創立記念祭 行楽弁当  
 5 月 端午の節句祭事食 おでんバイキング 自衛消防訓練 クラブ作品展  
 6 月 バイキングランチ ダーツ大会 外出行事  
 7 月 七夕祭事食 土用丑祭事食 うどんランチ  
 8 月 納涼祭  
 9 月 敬老祝賀会 お月見祭事食 結核健診  
 1 0 月 健康診断 行楽弁当 スポーツ大会 おでんバイキング 自衛消防訓練  
 1 1 月 寿司ランチ 鶴橋風月 施設懇談会 作品展  
 1 2 月 人権講座 バイキングランチ イルミネーション見学 ゆず湯  
 餅つき 年越しそば  
 1 月 新年互礼会 七草粥 小豆粥 鏡開き 地震防災訓練  
 2 月 節分祭事食とレクリエーション 寿司ランチ  
 3 月 ひな祭り祭事食とレクリエーション 特別ランチ スリーアイズ大会

カ. その他

誕生日会：月 1 回 和みカフェ：年 6 回 ミニ喫茶：年 3 回 映画会：月 2 回  
 折り紙レク：年 5 回 シナプソロジー：月 4 回  
 移動図書館：月 1 回 健康相談会：月 1 回 健康体操：月 1 回  
 セレクトメニュー昼食：月 1 回 焼きたてパン：月 4 回  
 活動クラブ：カラオケ（3 チーム）、オセロ、ダーツ、スリーアイズ、芸術

キ. 苦情相談の状況：H29.4.1～H30.3.31 （）内前年度

苦情相談	7 件（9 件）
------	----------

## 5. その他

### (1) 研修状況

#### ・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成29年 4月19日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計82名
4月19日	ターミナルケアに関する研修	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計82名
4月19日	介護技術研修	安楽に過ごすための配慮を学ぶ	施設長以下計44名
5月17日	食中毒の予防及びまん延防止の研修	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下計74名
5月17日	事故発生防止のための研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下計74名
6月21日	事故発生等緊急時の対応に関する研修	緊急時の対応の具体的方法を医師等より学ぶ	施設長以下計69名
7月19日	マナー・接遇に関する研修	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計74名
8月16日	P E Gに関する研修	P E Gに関する知識を学ぶ	施設長以下計67名
9月20日	虐待防止のための研修	養護者による高齢者虐待について学ぶ	施設長以下計75名
9月20日	介護技術研修	移乗介護について学ぶ	施設長以下計43名
10月18日	認知症及び認知症ケアに関する研修（グループワーク）	認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計63名
10月18日	胃ろう・吸引研修	看護師より胃ろう・吸引の実技指導を受ける	施設長以下計23名
11月15日	感染症予防及びまん延防止のための研修	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計75名
12月4日 ～17日	人権研修（ビデオ研修）	人権について学ぶ	施設長以下計85名
平成30年 1月17日	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の対応と備蓄食品等について学ぶ	施設長以下計79名
1月17日	感染防止の具体的な対策に関する研修	汚物の処理方法等について学ぶ	施設長以下計79名
2月21日	事故発生防止（グループワーク）	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下計59名
3月14日	身体拘束等の排除の取組に関する研修	身体拘束等の排除のための取り組みについて学ぶ	施設長以下計70名
3月14日	研修参加に対する伝達研修	全国大会報告・平成30年度介護報酬改正・他について学ぶ	施設長以下計70名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

新卒４月採用者に３月２３日から４月４日の間７日間実施、計２名受講

５月採用者を中心に６月８日、９日の２日間実施、計２名受講

９月・１０月採用者を中心に１０月３日、４日の２日間実施、計４名受講

１２月採用者を中心に１２月１日、２日の２日間実施、計１名受講

②中堅職員研修 階層別に中堅職員研修を行った。

１）中堅職員研修Ⅰ（入職２年目の常勤職員）２クール各１日 計９名受講

２）中堅職員研修Ⅱ（入職３年以上の常勤職員）

１クール３日間（うち、他部署１日研修１日含む）計６名受講

③相談員研修

相談業務従事者２１名に対し、年７回実施、のべ計９９名受講

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計１３２回の研修に参加した。

（２）ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

内 容	人 数
ホーム喫茶（毎水曜日）	２名
夏祭り（住友生命）	２０名
敬老会（コメディエンターティナーＭｒ．オクチ）	２名
もちつき（すみれ会・学生ボランティア）	１０名
ハンドクリーム（ポーラ化粧品・ベルコ）	１０名
６階 歌・作品作りレクリエーション（入所者家族）	１名

②通所介護（江之子島コスモス苑デイサービスセンター）

内 容	人 数
盆踊り（広教女性会）（７日間）	のべ２１名
施設夏祭り（付き添い）（１日間）	９名
初詣（茨住吉神社１日間）	のべ３名
うた体操（２３回）	のべ４６名
大阪市の歴史語り（１０回）	のべ１２名
手品（東淀川マジックサークル）（１回）	６名
フラダンス（プルメリア）（１回）	１０名
ウクレレ漫談（弾き語り）（１回）	１名
唱歌演奏（唱歌）（１回）	６名
歌謡・舞踊（京の川みのり）（１回）	１名
コミュニケーション（一般）	３名
コミュニケーション（家庭裁判所）	１名
介護予防ポイントボランティア	７名



③認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

内 容	人 数
バラ園散策	8名
九条商店街散策	3名
盆踊り（九条南女性会）	3名
紅葉散策（5日間）	2名
もちつき（1日間）	5名
紙芝居・歌・手品（たんぽぽ）	のべ70名
話し相手・レクリエーション補助	のべ32名
介護予防ポイントボランティア	1名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
佛教大学	5名	25名	教員免許
同志社女子大学	2名	10名	教員免許
京都大学	1名	5名	教員免許
明星大学	1名	7名	教員免許
宝塚大学	153名	441名	看護師
多根総合病院	5名	10名	看護師
大阪府病院協会看護専門学校	35名	35名	看護師
関西社会福祉専門学校	12名	180名	介護福祉士
昇陽高等学校	2名	54名	介護福祉士
9機関	216名	767名	—

・大阪府介護支援専門員実務研修実習 4名

・職場体験（中学2年生）

平成29年 9月 7日～ 8日 大阪市立西中学校 6名

平成29年10月18日～19日 大阪市立花乃井中学校 6名

（3）地域貢献活動など

・生活困窮者自立支援事業：特養・通所介護

就労訓練事業 対象者：1名・のべ165日（特養）

内 容：シーツ交換などの雇用へ向けての訓練実施

・こすもすカフェ（地域喫茶）：江之子島コスモス苑

①こすもすカフェ 12回開催・のべ155名参加

②こすもすカフェ（モーニング）24回開催・のべ147名参加

・認知症サポーター養成講座：江之子島コスモス苑

7回開催：のべ21名受講（平成25年5月から149名養成）

・認知症カフェ（オレンジカフェつどい）：コスモスのかぜ九条南

6回開催・のべ23名受講

・シニア料理教室：コスモスのかぜ九条南

6回開催・のべ23名参加

・シニア料理教室：花乃井ランチ

5回開催・のべ13名参加

(4) 寄付金状況(平成29年度分：日付順)

①江之子島コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	金 額	備 考
平成29年 7月22日	エルベロワイヤル16 振興町会様	地 域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年 7月22日	西区健康づくり推進 協議会コスモス会様	地 域	10,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年 7月22日	濱野様(江戸堀連合) 中島様(広教連合)	地 域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年 7月22日	金澤 達矢様	地 域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年 7月22日	竹田 房子様	地 域	10,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年12月22日	西区民生委員児童委員 協議会 白國 哲司様	地 域	30,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成30年 1月17日	住友生命保険 相互会社様	法 人	55,000円	法人運営費に充当

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成29年 4月14日	靱楠クラブ様	地 域	5,000円	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成29年 9月29日	靱楠クラブ様	地 域	5,000円	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(5) 寄付物品(平成29年度分：日付順)

①江之子島コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成29年 8月31日	広教連合振興町会様	地 域	バスタオル 20枚	特養で使用
平成29年 9月14日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 1カートン	入所者に配布
平成29年12月 5日	大阪ラブリー ライオンズクラブ	団 体	車いす2台	特養で使用

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成29年 9月15日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 1カートン	入所者に配布